

救急箱リスト



はじめに・・・

救急箱は『**重大な怪我をする恐れがあり、なおかつ怪我をした時にすぐに処置ができない場所で行動する際にあらかじめ用意、携行しておくべきもの**』であり、もしもの時に自分やほかの誰かの体や命を守るための重要な役目を持ちます。

その「中身」は、自分自身の活動において想定されるリスクに対処できるよう、一人ひとりが自分で考えて準備することが基本原則で、根本的な治療はできなくても、応急処置ができれば十分です。

注意事項

- 救急箱の中身は、年に1度は点検し、期限の切れたものは新しいものに交換しましょう。
- 救急箱は、子供の手の届かない場所に保管しましょう。
- 薬は必ず添付文書をよく読んでから使用しましょう。
- 使用期限の書いてある箱と添付文書は、薬と一緒に保管し捨てずにとっておきましょう。

中身	用途	チェック	期限
① 総合感冒薬	鼻水、熱、咳などの風邪の諸症状を和らげます。		
② 解熱鎮痛薬	熱を下げたり、痛みを和らげたりします。		
③ 下痢止め	下痢を抑えます。止めない方が良い下痢のときもあるので注意しましょう。		
④ 胃腸薬	むかつきを抑えたり、胃腸の働きを整えたりします。		
⑤ 化膿止め軟膏	ケガした所が化膿しないようにします。チューブの先には直接触れず、清潔に。開封後は半年～1年が使用の目安です。		
⑥ 目薬	目の乾燥を抑えたり、保護したりする際に使います。開封後は1～2か月が使用の目安です。		

中身	用途	チェック	期限
⑦ 包帯 	負傷箇所の保護や、ガーゼ等の固定に使用します。きつく巻くことで止血にも役立ちます。		
⑧ ガーゼ 	出血箇所を圧迫する際などに使用します。		
⑨ 救急絆創膏 	負傷部の保護、止血に使用します。		
⑩ サージカルテープ 	ガーゼや包帯の固定に使用します。		
⑪ 三角巾 	負傷部の固定や圧迫止血に使用します。		
⑫ 脱脂綿 	患部を消毒する際などに使用します。		
⑬ 綿棒 	細かい部分の消毒や耳の清浄などに使用します。		

中身	用途	チェック	期限
⑭ 清浄綿 	皮膚の清浄、清拭に使用します。		
⑮ 体温計 	体温を測ります。		
⑯ ピンセット 	棘などを取り除く際に使用します。		
⑰ 爪きり 	皮膚や爪などがささくれたり割れたりしたときに整えるために使用します。		
⑱ ハサミ、カッター 	テープ、ガーゼ、包帯など各種資材を切断する際に使用します。		
⑲ ボールペン、マジック 	何らかの記録、メモを取るときに使用します。		
⑳ 殺菌消毒液 	傷口の消毒に使用します。 ※消毒をしないほうがいいのかもありません。 開封後は1～3か月が使用の目安です。		

